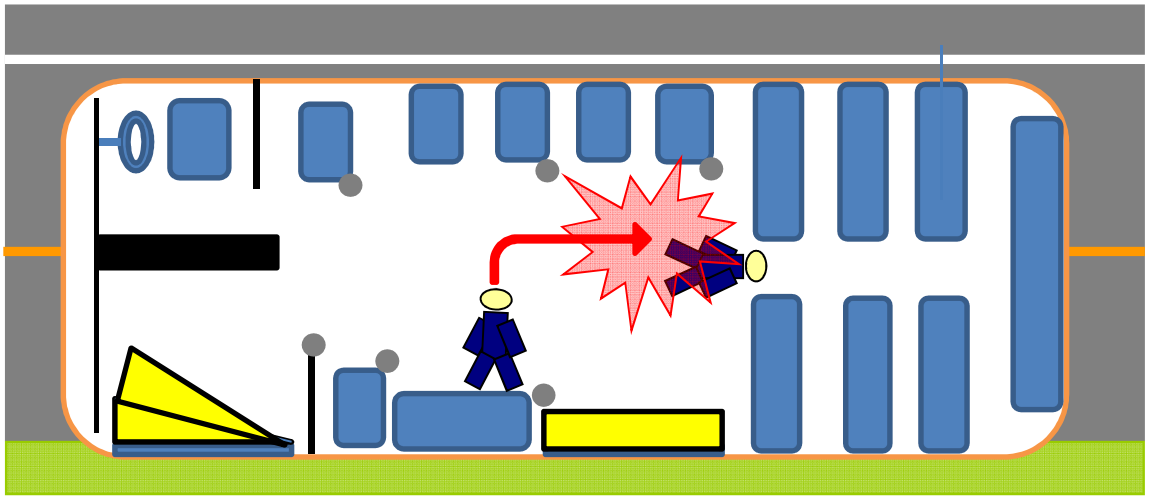
バス事故事例	
事例2. 発進時の安全不確認による車内事故	
発生時刻　天候	午後5時頃　　晴れ
道路状況	都道府県道　　制限速度40km／h　　乾燥路面
種別・用途・形状	普通　　乗合　リアーエンジン
事故種類	車内事故
損害の程度	1名重傷

◎事故の概要

　バス停にて、女性（66才）の方が乗車した。運転者は車内ミラーにて女性が席の前に立っていたのを確認し、着席したものと思い込み発車をした。その際、女性は後方の席に移動中で発車の衝撃によりバランスをくずし、転倒。右大腿骨を骨折した。

【事故の概略図】



事故の推定原因	運転者の確認不足。 座ったであろうとの思い込みによるもの。
再発防止対策	運転者は、車内ミラーによる確認及び目視による直接確認が必要。 乗客が着席するのを最後まで確認を行う。 高齢者は特に細心の注意を図る。